

留学開始から5ヶ月とついに留学生活の半分が過ぎました。前回のレポート以降、冬休みと春学期が始まってからの1ヶ月を振り返ってみようと思います。

【冬休み】

私が秋学期に受けていた授業は、期末試験期間前の授業内でテストが終わっていたので、12月は課題や勉強へのプレッシャーを感じることなく、リラックスして過ごしました。およそ3週間と予想より長い冬休みとなったので、荷物をバックパックに詰め込んで、アメリカの北東部とカナダへ旅行しました。具体的には、ナイアガラの滝、モントリオールのノートルダム大聖堂、ニューヨーク、ワシントンD.C.に行き、ウェストヴァージニア州、テネシー州では友人の家に泊めさせてもらいました。壮大な自然やフロリダでは見られない冬の景色を見て、日本でもなかなか体験できない極寒の気温で過ごしたり、アメリカンスタイルのクリスマスや年越し、そして家族の温かみや子育ての一面を垣間見たりと貴重な経験をすることができました。

旅先では英語できちんとコミュニケーションができたおかげで友人も作れ、またトラブルも解決できたので、実際に使える英語が身についているのを実感しました。私は海外で一人旅をすることが一つの夢だったので楽しみましたが、現地の友人や知り合いにとって、土地や治安に詳しくない外国人、しかも女性が一人旅、ましてや移動に夜行バスということで心配をかけてしまったようです。アメリカでの生活に慣れ、安全意識が薄れてしまっていたのかもしれませんが、気をつけようと思いました。

【春学期】

今学期は、家族社会学 (Marriage and Family)、ジェンダー学 (Humanities Perspectives on Gender and Sexuality)、アメリカ手話 (American Sign Language 1)、言語人類学 (Language and Culture) の4つの授業を受けています。秋学期に社会問題についての授業を受けて興味を持った、ジェンダー学とアメリカの家族形態の変遷についての2つを今学期はさらに学ぶことにしました。また、言語人類学は私の専攻である英米言語文化に対しての新しいアプローチや考え方を学びたいと思います。手話はルームメイトが勧めてくれて面白そうだったので受講しました。週4日の授業なので少し負担になりますが、今まであまり意識してこなかった、耳の聞こえない人のコミュニケーションの方法やカルチャーを知るとはとても新鮮で楽しいです。秋学期は教科書をただ読んで、講義を頑張って聞き取ることで精一杯でしたが、今学期はリーディングやリスニングが随分向上しているので、余裕を持って授業に臨むことができます。2月の初めに単元テストがあるので、成績を落とさないように勉強しようと思います。



写真：ワシントン D.C のワシントンモニュメントにて